

情報公開文書

「ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘患者における前立腺癌リンパ節転移陽性率の予測モデルの構築」

1. 研究の対象となる方

2012年1月1日から2023年3月30日までの間に、当施設でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術と拡大リンパ節廓清の手術を受けた患者さん

2. 研究目的・研究の方法

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を行う際に拡大リンパ節廓清を受けられた患者様のリンパ節転移の可能性を予測するモデルを作って、拡大リンパ節廓清が必要な患者さんを特定することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、診療録から診療情報を収集します。試料は用いません。収集する診療情報は、病歴、治療の方法・内容・効果・副作用、転帰等です。収集する情報は、個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）を削除して解析に用います。

4. 研究が行われる機関および研究者名

本研究は、多機関共同研究です。

<研究代表施設／研究代表者>千葉県がんセンター 泌尿器科 野呂卓秀

<研究参加施設／研究責任者>

千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学 五島悠介

国保旭中央病院泌尿器科 黒住顕

横浜労災病院泌尿器科 丸尾匡史

千葉県がんセンター、国保旭中央病院、横浜労災病院で手術した患者様の年齢、採血結果、臨床病期、病理結果等のカルテ情報をそれぞれの施設で収集し、統合した上で、千葉大学で解析を実施いたします。

5. 個人情報の保護について

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、情報管理責任者野呂卓秀が厳重に管理します。解析終了後、解析に用いた情報は研究責任者野呂卓秀の責任の下、施錠可能な保管庫で厳重に保管し、5年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際に患者さんを特定できる個人情報が用いられることはありません。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、共同研究施設である横浜労災病院泌尿器科に支給された受託研究費を用いて行います。研究者の利益相反については、研究実施機関の規定に従い、適切に管理されています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会が承認し、施設の長が研究実施を許可しています。

8. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください
あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究責任者までお申し出ください。その場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。学会や学術雑誌等への発表前であれば、あなたの診療情報を解析対象から削除いたします。発表後にお申し出頂いた場合は、まことに申し訳ございませんが、あなたの情報を発表内容から削除することはできません。しかし、あなたの個人情報や研究参加の事実が、発表の内容で判明することはありません。本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

研究代表者：千葉県がんセンター泌尿器科 野呂卓秀
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL：043-264-5431（代表番号）

<当施設の連絡先>

研究責任者：横浜労災病院 泌尿器科 丸尾 匡史
住所：神奈川県横浜市港北区小机町 3211
電話番号：045-474-8111（代表番号）